

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した終末期に向けた方針の共有と支援については、当ホームでは終末期支援は実施していないので、ぎりぎりまでの支援に努めています。医療機関で無いため出来ることとできないことを家族に説明しています。入居後は生活上のリスクについては契約時や担当者会議などに口頭で説明を行っていましたが、今後は内容を書面にして同意を得ることが必要と思われます。	今後、入居後生活上のリスクについては、内容を口頭の説明ではなく書面にてご家族の同意を得ていくこととします。	まずは、入居時のリスク説明書を作成し、今後の新規のご入居者に対しては、ご入居の契約時にご家族の同意を得ることとします。また、現在入居中のご利用者につきましては、担当者会議の中でご家族の同意を得ていくこととします。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組みについては、多彩なメンバーで充実している会議内容ですが、今後はグループホームの職員も参加されることを検討いただき、新たな視点で意見交換や会議の進行について再考されるようにすること。	グループホームの職員を交代で参加するようにし、新たな視点での意見交換をしていきます。また、前回の議題での検討事項などがあれば回答をし、更に効果的な会議としてサービスに反映していくようにします。	運営推進会議はグループホームが手狭なため、別の施設の会議室で行っている。今後はグループホームの職員が交代で参加するようにしていきます。前回の議題の検討事項は必ず回答をし、更に効果的な介護を行い、地域と密着し、また連携をしていき、より良いサービスができるようにします。	3ヶ月
3	35	災害対策については、毎年5月、10月の年2回、火災訓練をしています。今回のご入居者が就寝している状態で起きて頂くところから避難するまでという実践的な計画で実施されました。これまでも訓練後に受けた指導により避難口の増設やマニュアルの見直しなど次回に活かすようにしてきました。また前回指摘を受けた緊急時の食備蓄も準備しました。さらに実施している訓練について定期的に家族へ報告することで安心や信頼につながると思われます。また、職員の連絡網を使った実際の呼び出し訓練も実現が期待されます。	実施している訓練について、ご家族に報告し安心や信頼を得るようにします。また、職員の連絡網の実際の呼び出し訓練を行うようにします。	実施している訓練については、毎月のご家族のお手紙の中で、定期的に家族へ報告してまいります。また、職員の連絡網につきましては、5月・10月の火災訓練の前に、呼び出し訓練を行います。	6ヶ月
4	49	日常的な外出支援については、ご家族へ声かけはされているが、一緒に参加されることは少ないようなので、ご家族の協力を得ながら様々な外出の機会が得られることを期待をされています。	毎月季節の花等を見に、外出の企画をしていますので、必ずご家族にも案内し、出来るだけ参加していただき、ご一緒に楽しんでいただきたいと思います。	毎月お出ししているご家族でのお便りの中で、外出等の催しの案内をして、一緒に参加していただくようにすすめていきます。また、車いすのご利用者が多くなれたため、ご家族に介助をしていただきながら、コミュニケーションを図り、ご一緒に楽しんでいただけたらと思います。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。